

会社概要

社名：株式会社アイコー（英文名：AIKOH Co.,Ltd.）

設立：2010年8月

資本金：2,000万円

役員：代表取締役 上光 達義

副社長 中村 行男 自見 隆志

取締役 伊藤 良和 山名 保範

取引銀行：三井住友銀行 巢鴨支店

みずほ銀行 大塚支店

三菱東京UFJ銀行 巢鴨支店

所在地：本社 埼玉県戸田市笹目北町13番地23号

TEL 048-421-8600 (代表)

FAX 048-485-8612

大阪営業所 奈良県御所市室505番地

TEL 0745-62-1062

FAX 0745-62-9510

名古屋営業所 愛知県名古屋市中区錦1丁目19番24号

TEL 052-232-2731

FAX 052-232-2732

奈良工場 奈良県御所市室505番地

TEL 0745-62-6113

FAX 0745-62-9510

業種

化学工業薬品製造販売（金属表面処理薬剤）

亜鉛、ニッケル、錫めっき用光沢剤、無電解ニッケル、銅めっき、高耐食性防錆処理皮膜、高速部分めっき法、その他めっき関連処理剤

沿革

1966年8月 アイコー株式会社と米国 RO.HULL CO.（通称 ROHCO）の合併で

アイコーローコ株式会社を東京都台東区に設立。

金属表面処理剤の製造販売を開始する。

資本金を600万円

1968年4月 大阪営業所を開設する。

1969年4月 名古屋営業所を開設する。

1981年8月 ROHCO社はMcGean社と合併しMcGean・ROHCO INC.となる。

1986年7月 アイコー株式会社が100%の株式を取得し、米国との合併を解消し、アイコーケミカル株式会社に社名を変更する。

2000年6月 菱三商事株式会社が100%の株式を取得する。

2002年4月 大阪営業所を奈良工場内に移転する。

2010年6月 本社を埼玉県戸田市に移転する。

2010年8月 東都化学工業株式会社が菱三商事よりアイコーケミカル(株)の事業譲渡を受け、社名を株式会社アイコーに変更する。

製品一覧

製品分類		製品名
前処理剤	脱脂剤	：アイクリーン
	酸洗剤	：アイシーネ、ウルトラシッド、：デスマット
	酸洗添加剤	：SHカットCL、SO-100、アイコーAD-85
	スマット除去剤	：デスマット
亜鉛めっき関係薬品	青化浴	：アイコー
	ジンケート浴	：イワハシブライトナー、スーパージंक
	酸性浴	：アシッドブライト
	有色	：アイディップC
	青色	：アイディップZ
	黒色	：アイディップZB、Z
6価タイプクロメート剤	緑色	：アイディップOG
	青色	：アイディップC、Z
	3価クロム化成処理剤	：アイコーブライトプロセス
ニッケルめっき関係薬品		：アイコーNI-100プロセス
		：アイコー・セミブライトプロセス
		：ニップKプロセス
		：アイコーイマージョン錫
錫・半田めっき関係薬品		：アイブレイト、アイコーイマージョン錫
クロムめっき関係薬品		：アイコーCR、アンチスプレイ
銅めっき関係薬品		：アイコー3050プロセス
プラめっき・プリント基板関係薬品		：アイブラックCu、アイボンドCu-M
めっき皮膜剥離剤		：アイストリップ
めっき関係補助剤	不純金属抑制剤	：コンディショナー
	ミスト防止、清浄剤	：AW-6500、ジंकクリーナー
	表面張力調整剤	：アイコーAD-25
	水切り剤、亜鉛置換剤	：ショートリンズ、アルジンカート
	マスキング剤	：マスコート
	耐食皮膜強化剤	：ACコート
重金属捕集剤	：アイフロックMC	
溶融亜鉛フラックス浸透剤	：アイコーキャッチノン	
黒化処理剤		：アイブラック
化学研磨剤		：アイシーネ
防錆剤		：アイガード、ラスタレスト
高耐食性防錆処理皮膜		：ポリシールシステム
高速部分めっき法		：アイコールプロセス

主要取引先

愛三工業(株)、朝日工業(株)、石塚硝子(株)、茨城亜鉛工業(株)、(株)大阪真空機器製作所、キョークロ(株)ケミカルテック、さくら鍍金、ザマジヤパン(株)、三研工業(株)、JFEスチール(株)、シチズンセイミツ(株)高崎亜鉛工業(株)、高島工業(株)、(株)大真空、大同特殊鋼(株)、(株)デンソー、東海鋼材工業(株)、那須電機鉄工(株)、日新ガルバ(株)、日本航空電子工業(株)、日本電子工業(株)、日本鍍金工業(株)、日本山村硝子(株)、菱三商事(株)、古河電気工業(株)、本間ゴルフ(株)、(株)ユニゾーン、(株)ミロク工芸(株)小松製作所、ヤマハ(株)、横浜ガルバー(株)他